

Medi-Wave メディウェーブ ひょうご For medical students magazine spring → 2&3 February & March

2月27日(土) 神戸大学・兵庫医科大学の学生を対象に、学習会を開催しました。3回目の開催となる今回のテーマは、「行動科学について考える」。尼崎医療生協病院内科医の東医師を講師に、「患者中心の医療とは」を話の切り口に、医療現場における行動科学とは何か、どのように活かされるかについてお話をいただき、具体的な例をもとに実践も行いながら、みんなで考えました。



CONTENTS

2 p リレーエッセイ 第14回

尼崎医療生協病院 玉井 友里子 医師

3 p 医療ニュース かわら版

4 p 医学生レポート

「ウィンターセミナーを振り返って」

5 p 春休みに医療現場を体験しよう！

春休み実習案内

6 p 4/24~4/25 臨床セミナー案内

7 p 医療現場は今！生存権⑤

8-9 p 海外医学部レポート

10 p 読者のつ・ぶ・や・き....

11 p 大人気！cross-words パズル

12 p 奨学金制度のご案内 /

かんたん cooking

リレー・エッセイ

～家庭医・総合医の徒然日記～第14回



尼崎医療生協病院 玉井 友里子 医師（後期研修医）

プロフィール

〇7年 大阪医科大学卒業後

協立総合病院（名古屋）にて初期研修開始

〇9年 家庭医研修プログラム（阪神コース）を

尼崎医療生協病院で研修開始

10年 家庭医研修プログラムで緩和ケア研修中

こんにちは。尼崎医療生協病院 家庭医後期研修医1年目の玉井です。2度目の「Medi-Wave」が回ってきました。相変わらず寒い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？私の家にはうさぎがいるのですが、寒いようずっと丸くなっています。あたたかいときには手足（足足？）を伸ばしてダラーッと寝ていて、その姿がまた可愛いので「早くあたたかくなるといいね。」と話しかけています。

ところで、今年の1月30日に大阪で『近畿ポートフォリオ発表会』が開催されました。『ポートフォリオ』は本来は「紙ばさみ」や「作品集」という意味ですが、家庭医療での『ポートフォリオ』というのは「自分が実践できしたこと」や「経験したこと」を振り返ってまとめたもののことです。実は3年目なのに、きちんとパワーポイントを作ったことも発表したことなかったので、パワーポイントを作るところから四苦八苦・・・。今回は入院で担当した後、訪問診療で継続して担当させていただいているAさんについてまとめてみましたが、いろいろ思い出すところもあり、「最初はああだったな～」とか「今思えばああすれば良かった」などの思いがあふれて、作り始めはなかなか進みませんでした。そんなこんなでしたが、指導医のあたたかい指導のおかげで、最後には自分でも納得のいくスライドに仕上がりました。また、作っていくうちにパワーポイントの魅力をどんどん見つけ楽しくなってしまい、アニメーションや絵柄を駆使したポップな仕上がりになっていました。当日はぎりぎりに行ってしまったこともあり、意外と緊張せずに発表できました。他の先生方の発表も個性豊かで、学ぶところもたくさんあり、非常に刺激を受けて勉強になりました。症例発表会とはまた違ったポートフォリオ発表会、今回の参加は医師がほとんどでしたが、ぜひ学生さんにも来ていただくと、家庭医療のイメージが湧くのではないかと思いました。

また、2月13・14日には、東京大学で『若手家庭医のための家庭医療冬期セミナー』が開催されました。東京は雪が降っていて、関西からは想像できないくらい寒かったです。北海道から九州まで、若手家庭医が100名以上集まり、かなりの盛り上がりを見せました。「家庭医とはなにか。」「家庭医・総合医がいかに医療崩壊に力を発揮できるか。」「複合する問題に家庭医療としてどうアプローチするか。」などなど熱いセッションがたくさんあり、選択だったので全部参加できなかったのが本当に残念でした。セミナーは新しく学ぶところもたくさんあるのですが、普段日常診療に紛れてつい忘れてしまう大切なことを思い出すところがとても大きいと感じています。これからも時間の許す限り、どんどん参加していきたいと思っています。

最後になりますが、最近家庭医のブログが始まりました。兵庫民医連の研修医・医学生のページにいくと、「家庭医ブログ」があります。まだぼちぼちな更新状況ですが、家庭医の日常が垣間見れますので、ぜひチラ見してみてください。よろしくお願いします☆

◆家庭医とは

疾病臓器・患者の性別・年齢・その他医学的技能の専門性にとらわれず、患者ならびに地域住民の健康問題を幅広く担当する医療分野（家庭医療）に従事する医師。



医療ニュース かわら版

- Medical news KAWARABAN -

Medi-Wave HYOGO



センター試験「倫理」問題に見る科学論

これを読んでいる受験生のみなさん、受験お疲れさまでした。結果がどうあれ、次のステップに進んでいかなくてはなりません。医学生のみなさんも、受験生だった頃を思い出して、少しおつきあいください。

さて、今年のセンター試験「倫理」では興味深い問題がありました。（なお来年センター試験受験予定の人がいたら、社会は「倫理・政経」系にするとラクできます。私が言うのだから間違いありません。しかし責任は取りません。）

問 …次の文章を参考にして、疑似科学的な発言の例として最も適当なものを一つ選べ。

言葉の定義からして、疑似科学には「科学のようで」「科学でない」という二つの条件が必要である…（以下略、伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』より）

1. 血液型性格判断が科学的に否定された場合でも、ふだんの会話の中で盛り上がる話題としてそれを持ち出すのならば、全く問題はないよね。
2. 血液型性格判断が科学の教科書で否定されたとしても、血液が生命を維持しているのだから、やはりそれは科学的に見て正しいはずだよね。
3. 血液型性格判断がある種の研究者により正しいと主張されたとしても、新たな反証によって否定され得るので、絶対視しない方がいいよね。
4. 血液型性格判断が現在までの研究で否定されたのなら、それを覆す新たな証拠が出されない限り、科学の主張としては信用できないよね。

*

まずセンター試験が求めている解答は 2 です。…ね、やっぱり簡単でしょう。こんな問題だったら教科書読んでなくたって分かるでしょう。2.は主張の正否以前に支離滅裂です。支離滅裂だけど、居酒屋談義（高校生の場合は「マクドナルド」と変換すべし）ではちょっと声がデカくて知ったかぶりの人が言えば、ノーチェックかもしれません。『Medi-Wave』読者たる者、ここは周りに流されず理性の鉄槌を厳かに下すべきであります。しかし我らが『かわら版』では、もう少しツッコンでおきたいと思います。「他の選択肢に問題はないのか」を考えてみます。

まず 1.ですが、話題にしている人たちが「血液型性格判断は間違い、アテにならない」ということを踏まえているならまだいいのですが、たいていはそういう確信もないまま、せいぜい真偽不明であるかのように扱われていることが多いので、問題だと思います。結局こうやって迷信は広まっていくのです。「科学者はそういうっているけど、そうじゃないという説もあるよね。」みたいな。

次に 3.ですが、まあ妥当だとは思いますがあくまで相対主義的な色彩が濃いように思います。真理の相対性と絶対性は弁証法的な論理構造として考える必要があると思います。「真理には適用条件があって、それを超えれば誤謬に転化する」ということです。4.も 3.と同じことが言えます。「真理の弁証法的性格」さえ踏まえてあれば、特にキズが見あたらないように思いました。ただ 3.にしても 4.にしても、検証の結果「否定」というのは簡単なんですが、「肯定」のほうは難しいんですよね。それもまた〈別の問題を立てて実験しては検証〉を繰り返して、追い込んでいくしかないよう思います。

みなさんはどう思われますか。もし意見があったらお知らせください。

【ウィンターセミナーを振り返って】(0大学 医学部5回生 N.K.)



昨年12月26日～27日の一泊二日、「災害医療～阪神・淡路大震災～」のテーマで
ウィンターセミナーが開催され、参加させて頂いたご報告をさせて頂きます。

プログラムは、まず参加者全員で「人と防災未来センター」でフィールドワークを行い、神戸市内のホテルで阪神・淡路大震災や災害医療に関する講演をお聴きした後、グループディスカッションへと移りました。この大震災で被災した当時、私は小学校3年生でしたが、当時の生々しいお話や映像にふれると15年経った今でも、あの日の怖かった想いや、ないものだらけの生活の中で身近な人と寄りあって過ごした心温かい日々が、心の中であつという間によみがえってきました。

私たちが学んだことは、なんといっても「普段から！」の一言に尽きると思います。震災が起きて水や電気も途絶え、機械は壊れ薬や物品も全く足りない・・・ないものだらけの中で医療を行うには、人と人との団結力、そしてそれを動かす組織力が必要であり、それらは普段からの意識や行動があるからこそ、いざというときに十分に発揮されるということです。具体的には、医療活動の現場である地域を普段からよく知っておくこと（顔の見える地域医療）、周りのスタッフ同士でコミュニケーションを十分に取り連携を高めていること、患者さんに対しては身体面だけでなく、社会面・心理面など総合的な視点をもって医療を行うことなどが挙げられ、これらを普段から続けていることが大切だとみんなで話し合いました。また、他に災害特有の医療としては、長期にわたる心のケアが求められているという点も挙がりました。阪神・淡路大震災から15年経ち、街は一見したところきれいな街に戻り、マスコミで取り上げられることもほとんどなくなりましたが、まだまだ被災者にとって震災は終わっておらず、自殺や孤独死を防ぐためにも心のケアはこれからも必要でありまだ十分には足りていないのが現状であると強く感じました。

以上のように災害医療について私たちが学んだことは、繰り返しになりますが、普段も災害時も大切なことは全く変わらないということであり、近い将来、医者として患者さんの立場に立った医療を、また職場や地域でコミュニケーションがしっかりとれるような医療を普段から行おうと、参加した医学生一人一人がそれぞれの心の中で確かに思ったと、最後のフィードバックでは感じることができました。

今回のウィンターセミナーに限らずですが、毎回一泊二日の間に、多くの他大学の学生さんや研修医の先生、ベテランの先生、そしてスタッフの方々と楽しく時間を過ごして、たくさんの元気や刺激をいただけるのがなによりの醍醐味だと思います。今回は私自身医学部5回生ということで将来のことを自分なりに考えていた時期であったので、とても充実した交流もありました。一人でも多くの学生がこれからも参加して、お互いのつながりが増えればなによりと思



います。企画を準備していただいた医学生担当者の方々に感謝するとともに、また次にみなさんにお会いする日をとても楽しみに待っているところです。



<ウィンターセミナーとは?>

医学生（奨学生）が自主的に決めたテーマについて学習する企画。学習や学生同士の交流を通して、社会的・民主的成长を図ることを目的として開催しています。夏（夏はサマー セミナー）と冬の年2回取り組んでいます。

春実習申し込み受付中(3/1~4/9)

当直・救急医療体験コース

夕方から翌朝までの間、救急で病院に運び込まれる様々な疾患を目の前で見学することができます。一刻を争う救急の現場で懸命に働く医師を見てプライマリの力を痛感することでしょう。

在宅患者往診コース

地域の患者様のお宅へ出向き、在宅往診や訪問看護にとり組む医師や看護師を見学します。患者様やそのご家族の方と会話をしていただけたりして、地域医療の大切さを実感してもらいます。

研修医密着病棟コース

1年目から4年目までそれぞれの段階で奮闘する研修医の1日の流れを見学することができます。研修医のもと患者様の協力を得て身体所見の取り方の体験もできます。兵庫民医連の研修内容も説明します！

手術見学コース

実習希望でいつも上位に入る手術見学。手洗いをして手術着に着替え入室することもできます。開腹手術や人工関節置換術など、実際に目の前で見ると「早く医師になりたい！」と思いまふでしよう。

ホスピス(緩和ケア病棟)見学コース

癌などの終末期を迎えた患者様の疼痛などの症状を緩和し、最後まで人間らしく生き抜く事ができるよう全人的なケアを行う病棟です。ケアをするご家族やスタッフの姿は印象深く記憶に残ることでしょう。

産婦人科／分娩見学コース

尼崎医療生協病院では、自然分娩や帝王切開等が見学できます。人が誕生するという感動的な瞬間に立ち会い、それをサポートする医師の姿を見て心温まる感動を経験することでしょう。

*リハビリ／デイケア体験コース * 障害児医療体験コース * 患者体験コース
* プライマリヘルスケア／診療所体験コース * 外来見学コース
* 透析見学コース * コメディカル(他職種)見学コース etc…



★ 実習要項 ★

- ◆ 参加費は無料です。(実習に関する交通費は自己負担でお願いします)
- ◆ 1~6年生が対象です。(今春医学部へ入学予定の学生も可能)
- ◆ 宿舎・食事が必要な方はこちらで準備します。
- ◆白衣・聴診器をお持ちの方は持参して下さい。
- ◆ 申し込みは、同封のハガキ・お電話・Eメールでお願いします。

兵庫民医連フリーダイヤル：0120-404-310

アドレス：<http://www.hyogo-min.com/>

Eメール：igakusei@hyogo-min.com

医学生のための

尼崎医療生協病院 臨床セミナー

ひと足先に研修医体験してみよう！

指導医、研修医、医学生でチームを組み、主治医体験を行います。
臨床の現場に即した実践的なプログラムです。ぜひご参加下さい。

日 程：2010年4月24日（土）8時30分集合

※尼崎医療生協病院 1階総合受付

25日（日）9時～17時

※尼崎医療生協病院・のざと診療所

会 場：尼崎医療生協病院（基幹型臨床研修指定病院）

応募資格：医学部新5年生及び新6年生

参 加 費：2,000円（食事込） ※参加交通費一部負担します ※宿泊も可能

募集人数：4名

プログラム（予定）

24日

- 8:30～ 臨床セミナーについてのオリエンテーション
- 9:30～ 病棟実習（病歴聴取、身体診察など）
- 12:00～ ランチョンセミナー「EBM ワークショップ①」
- 13:30～ 電子カルテ記載、カンファレンスの準備
- 15:00～ 病棟カンファレンス
- 17:00～ イブニングセミナー「身体診察ワークショップ」
- 18:00～ 感想文の記入、実習の振り返り

25日

- 9:00～ EBM ワークショップ②
- 12:00～ 昼食・研修説明（のざと診療所に移動）
- 15:00～ 記念講演 岸本暢将（みつまさ）先生
聖路加国際病院(アレルギー・膠原病科)
- 18:00～ 全体懇親会



尼崎医療生協病院
<アクセス>
JR立花駅下車
北側 線路沿いを西(神戸方面)へ徒歩約15分



岸本暢将先生(アレルギー・膠原病科 副医長)

2001～2004 米国ハワイ大学内科研修

2004～2006 米国New York University リウマチ膠原病内科Clinical Fellow

2006～2009 亀田総合病院リウマチ・膠原病・アレルギー内科部長代理

2007～ 東京大学・東京医科大学・北里大学医学部

2007～ 医学博士

お問い合わせは・・・尼崎医療生協病院 医学生担当まで

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘 12-16-1

TEL : 06-6436-1701(代) FAX : 06-6436-0156 mail : igakusei@hyogo-min.com

シリーズ 医療現場は今！生存権⑤

兵庫民医連SW委員会

リハビリ病棟で求められる MSW の役割とは

氏名：A 氏 年齢：60 代 性別：男性

病名：脳梗塞（左不全麻痺・高次脳機能障害）、糖尿病（当院にてインスリン開始）

家族状況：妻 平日は勤務あり、主介護者（靴の縫製 8～10 万円）

長女 昼夜勤務あり、介護は見込めず（弁当屋での深夜業務中心 23 万円）

〔社会資源〕介護保険 要介護 2（転院後に申請）、身体障害者手帳 2 種 2 級（転院後に申請）

〔家屋状況〕3 階建てアパート（家賃 6 万円）、手すりのない階段のみ、住宅改修は不可

【経過】

A 氏は妻と長女の 3 人暮らし。タクシーの運転手と共に働きで生活を支えてきた。

昨年 6 月 21 日に脳梗塞を発症し B 病院へ入院、左上下肢不全麻痺と高次脳機能障害があり 7 月 17 日に当院回復期リハビリ病棟へ転院となる。もともと糖尿病があったが、病院嫌いで通院せずにいたため、糖尿病も治療を要していた。転院の時にリハビリの要望を聞いたところ、本人・家族からは「リハビリをして家に帰るよう前に前の病院で言われた。リハビリをして歩けるようになって欲しい。」との希望があった。しかし、車椅子から自身で移ることや起き上がることも困難な状態であり、転院直後から Dr やリハビリ職員からの病状説明を開始した。数回の病状の説明により妻の理解は得られたが、A 氏は「歩けるようになる。前のように戻る。仕事に戻る。」という思いが強く、障害を認めて頂くために時間を要していた。妻は A 氏に対して今後の話を伝えきれず、MSW が妻と A 氏の間に入って今後の相談を行うようにし、少しずつではあったが障害のことや今後のことを考えられるようになっていく。

また転院直後、妻から「年金が 2 人ともないので、私が働くしかない。今の家は階段があって帰れない。」との相談があり、生活保護の可否や転居の可能性についても並行して相談を始める。妻の収入だけでは生活が成り立ちにくい状態だったが、長女の収入が多く生活保護の対象にはなりえなかった。長女と妻の収入でかろうじて生活が可能ではあったが、長女の収入を生活費にあててももらえない状況だったため、2 人での生活なら生活保護の可能性も不可能ではないことを伝える。しかし、妻や A 氏も長女との別居は望まなかっただけ、長女から援助数万円を入れてもらうことでギリギリの生活をすることに決めた。また、転居も検討したが、転居費用や敷金などの支出があり、市住が当たるまでの間は現在の自宅で生活することになる。

退院先の自宅場所が決まったため、退院の準備として転院直後に申請した介護保険でケアマネージャーを依頼。3 階までどのように移動するかを検討するため、11 月にリハビリ職員と共に自宅へ訪問し生活の仕方を検討、年明けの 1 月初旬に A 氏と共に再び訪問し階段昇降の方法やベッドの配置や自宅内の移動方法を確認した。介護保険サービスを導入することになったが、数ヶ月前まで働いていた方でもあり、介護を受けることに一定の抵抗も考えられたため、男性のヘルパーでの入浴介助や訪問リハビリを提案。3 階から一人で昇降することが困難なため、往診でしばらくの間をフォローしてもらうことになった。極力金銭の負担はかかるないようサービスは必要最低限に、家の改修は妻手作りの段差解消などで補い、1 月 20 日に自宅へと退院された。退院後、A 氏が想像していたよりも自由に動き回れることなど苦痛を感じておられることをケアマネージャーから伝え聞いている。

【考察】

回復期リハビリ病棟には疾患別に入院の期限が設けられている。今回の A 氏の場合は、最大 6 ヶ月間の入院可能期間があった。急性期病院での治療が終わっても、『脳梗塞』がどんな病気でどんな障害が残っていくのか想像ができず、病気の受け入れや今後の自身の生活設計自体をリハビリ病棟で行う必要性があった。若年で脳梗塞になられた多くの方が、現役で働いていたり、退いたばかりの元気だった方が多い。そのために、今までの自分自身の生活とのギャップにご自身や家族が追いつかず、リハビリだけでなく様々な援助が必要になってくる。経済面や生活面、家族の精神的な援助も MSW に求められている。しかし、現在の医療保険制度や介護保険制度では、突然の病気に向き合う時間や機会、退院後の社会参加の幅は広くないといえる。高齢者ももちろんだが、50 代 60 代の患者が社会復帰社会参加が出来るような制度を作り上げていく必要があるように思う。

SSくんのEUフルガリア フレーベン医科大学在校生レポート

EU加盟国ブルガリアのフレーベン医科大学に在籍する医学生のレポート。ではどうぞ！

みなさん、こんにちは。今回は、2年後期の試験の様子、3年生の予定表、冬休みの帰省についてレポートしようと思います。

2年後期の試験の様子

2年生後期は、3つの専門科目「医療倫理」「社会医学」「微生物・ウイルス学」とブルガリア語の試験にパスしなくてはなりません。どの科目もこれまでの学期末試験同様、裏返されたトランプのようなカードの山から数枚カードを引き、そこに書いてある質問事項に答える筆記試験がメインなのですが、1科目 150 から 200 問の準備をしなくてはならないなどトピック数が多くなってきたり、内容自体が難しかったりと、やはり学年が進むごとにテストの合格率は厳しくなるようです。（「私もトランプのようなカードを使って、ブルガリアと同じ形式で試験をしているよ」と他のヨーロッパの国々で医学生をしている友達から聞いたりするので、ヨーロッパではこの試験方法がスタンダードなのかも知れませんね。）

2年生以降は、この「引いたトピック以外の範囲の勉強もしっかりこなしているか、ヤマを張って一部分だけの勉強になっていないか」をチェックするため、4択・5択のペーパーテストも並行して実施する科目がほとんどです。（「微生物・ウイルス学」では、筆記、ペーパー試験に加え、実技として検査や実験も試験に課せられます！つ、辛い。）

筆記の点数に関わらず、ペーパー試験や実験で一定以上の点数がとれていないとそこで試験終了など、試験の時先生方は厳しいので、生徒はみな戦々恐々です。生徒数も学年全体で 15 人程度になってしまいました。

3年生の予定表について

3年生の授業内容です（レポート文末掲載）。2年生後期から引き続いて内科、外科、病理解剖学、病理生理学があるのですが、それに加え公衆衛生学、医療遺伝学、レントゲン学が始まります。日本の医学部と比較すると、早いうちから現場に出て、専門科目を勉強する機会が、ヨーロッパの医学教育では多いと感じます。モチベーションの面からももちろん効果的であると思いますが、医師としての責任感・医師としての目線など「プラスαの部分」もしっかり考えていかねばならないカリキュラムとなっており、身が引き締まる思いです。もちろん日本の医学教育の素晴らしい点もたくさんあるので、どちらが良いかという話ではありませんよ。

また、表を見てもわかるように、朝から晩まで授業がみっちり組まれています。効果的な勉強と継続力、体力も求められます。各学科の勉強内容は、2月以降授業が始まるので、また来月以降のレポートで詳細を紹介したいと思っています。

冬休みの帰省

何とか今回の期末試験もクリアしたので、私は日本に帰省することに決めました。帰省前にはいつも、ソフィアに住んでおられる日本人の方とご飯を食べるが楽しみのひとつなので、今回も挨拶に伺いました。ちなみに首都ソフィアには結構まとまった数の日本人が住んでおられます。右の写真は、ソフィアにあるマクドナルドで撮ったものです。よくマクドナルドはご当地にしか売っていないバーガーがあると聞きますが、今回食べたこのバーガーがそうなのかはよく分かりません。しか



読者の つ・ぶ・や・き

ようやく春から医大生！！
浪人生活は長いようで短かった。
だけど大きく成長できた1年でした。

ペンネーム：あすか

『読者のつぶやき』に載った。うれしい！今回もクロスワードに挑戦！

ペンネーム：ラン太郎

悪あがきのように部活に打ち込んでいる今、まだ上手くなつていける…と実感できています。

ペンネーム：すだち

生命科学科の3年です。医学科へ学士編入しようと考えています。
『面接試験の模擬体験』の情報等、欲しいです。よろしくお願ひします。
次号を楽しみにしています。

ペンネーム：モグラ

いつも楽しく読んでいます♪

パズル好き ❤

弟がセンター試験を受けました。その後、家の中は暗いです…。頑張れー！！

ペンネーム：黒ムース

昨年は四女が大学をあきらめて、県立の看護専門学校へ行ってくれました。おかげで、弟は私立の専門学校へ行くことができました。弟は勉強がいまいちなのに、理学療法士になりたがっているので、金銭的に二人分かかってしまうので、四女に感謝です。三女は、医学科へ学士編入を考えていた、四女のギセイのおかげでそういう進路も考えられる我が家です。

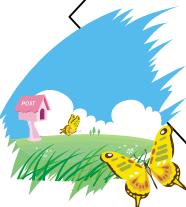
ペンネーム：キリン

兵庫民医連は読者のみなさんを応援しています！

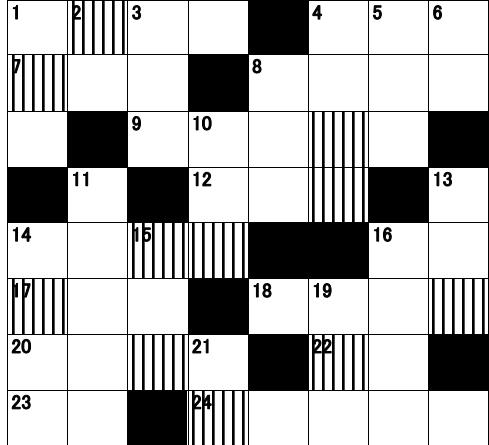
(編集者)

Medi-Wave CROSS-WORDS

もうすぐ春ですね♪
進級や進学、卒業…、環境の変化で
戸惑うこともあるかもしれません。
しかし、新たな環境でチャレンジできる
季節でもあります。
クロスワードにもチャレンジ！&お便り
もお待ちしています。



=答え=



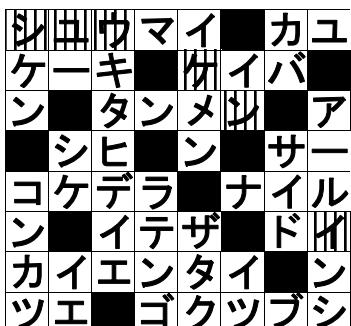
網掛けの11文字を並べ替えると答えになります。
正解者には抽選で図書カードを進呈！！
同封のハガキに答えを書いて送って下さいね。

→ よこのカギ

1. 主にアフリカに分布する肉食動物。「たてがみいぬ」ともいう。
4. ネッシーがすむというスコットランドの湖。
7. 思春期に顔にできます。
8. 赤頭巾ちゃんを食べようとした動物。
9. 近年、このお陰で文字や画像をデジタル保存出来るようになりました。
12. アララギ派の歌人、斎藤○○○。北杜夫の父。
14. 東京の神田神保町は、この商店街です。
16. シャーロット＝ブロンテの長編小説。ジェーン=○○
17. 新潟県中北部、阿賀野川西岸にあった市。2005年新潟市に編入。
18. 相撲で、行事軍配に異議があるときに親方衆が合議で勝敗を決します。
20. スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科の一群の鳥。オオ○○○○、コ○○○○。
22. ♪民衆の○○、赤○○は戦士のかばねを包む……
23. 「癒える」の文語形。
24. モクセイ科の落葉低木。札幌市を代表する花です。

↓ たてのカギ

1. 4～7世紀ごろ、古墳の上または周囲に立て並べた素焼きの土製品
2. 「やぼ」の反意語。
3. そのまま地名がビール名になっています。
4. ドイツ（特に旧東ドイツ地域）などの、反ユダヤ主義・国家主義
5. 傷あと。特に、皮膚の傷あと。
6. いろいろなものをとりまして一つに扱うこと。
8. 小麦粉をこねて平たくし、調味したナスや野沢菜、小豆などを包んで両面を焼いたもの。信州名物。
10. 邪悪な鬼が出入りするとして万事に忌み嫌われた北東の方角。
11. 野球でセカンドのこと。
13. 南太平洋、イースター島に残る人面石像。
14. 経済的に苦しいこと。また、そのさま。
15. 思ひ立ってことを始めること。○○○人。
16. 出世すること。高い地位、身分を得ること。
19. クレヨンしんちゃんの名字は？
21. イタリアの通貨。



<ヒント>

沖縄県内での「移設」などが議論されていますが、そもそもこの国に必要なのでしょうか。
答えは「○○○に○○は○○○○」という形になります。

*前号の答えは「研修医」でした。

奨学生制度のご案内

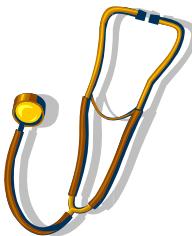
奨学生制度の主旨

民医連の奨学生制度は、卒業後、民医連の医療活動に参加しようとする医学生の要望に応えて経済的援助を行うことを目的にしています。

制度のあらまし

□返済の免除

民医連の病院・診療所で貸与期間と同期間に勤務された場合、返済が免除されます。



奨学生の月額

1・2年生	50,000円
3・4年生	60,000円
5・6年生	70,000円

□奨学生になつたら…

奨学生は、将来の民医連の医療を担う医師となるため、医学・医療の勉強に励むとともに民医連総領をはじめ民医連の行っている「患者の立場に立つ医療活動」を学びます。また今の医療をめぐる様々な諸問題を含め、広い視野をもった医師として成長していくよう幅広い学習に取り組みます。

具体的には、①民医連の病院実習に参加、②奨学生会議に参加、③民医連が主催する学習会への参加、などです。

手続きについて

申請を希望される方は、下記の兵庫民医連・医学生担当までご連絡ください。申請手続き等について説明します。
申請書類は所定の申込書・所定の契約書・履歴書などです。

兵庫民医連栄養科が薦める

かんたんCooking

2&3月号のメニュー 「簡単！！さばのホイル焼き」

- しめじは根元を落として粗くほぐし、ししどうは包丁目を入れて種を除いてせん切りにする。
- 長ねぎとしょうがは、せん切りにする。
- アルミホイルを 20cm～30cm 角に切ったものを 2 枚用意し、サラダ油を薄く塗り、長ねぎ、さばのみそ煮の身、しめじ、しょうが、ししどうの順にのせ、缶汁を全体にかけて包み込む。
- 温めたオーブントースターに入れて 5 分焼き、アルミホイルのまま盛り、半分に切ったすだちを飾る。



材料 1人分

さばのみそ煮缶	1 缶
しめじ	1/4 パック
ししどう	4 本
長ねぎ	1/3 本
しょうが	5 g
サラダ油	少量
すだち	1/2 個

*今回のメニューは、東神戸病院 管理栄養士 森本徹さん からのお薦めです。

■発行：兵庫県民主医療機関連合会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町 5-3-7

フリーダイヤル（無料）：0120-404-310 FAX：078-303-7353 Mail：igakusei@hyogo-min.com

大倉山医学生センター Tel &Fax：078-578-6373 武庫川医学生センター Tel &Fax：0798-40-3155